

平成 24 年第 2 回教育委員会定例会会議録

- 1 開会宣言 平成 24 年 1 月 24 日（火） 午後 2 時 15 分
- 2 場 所 三条市役所栄庁舎 201 会議室
- 3 出席者 長沼委員長、坂爪委員長職務代理委員、渡辺委員、須佐委員、松永教育長
- 4 説明のための出席者
池浦教育部長、大平教育総務課長、久住子育て支援課長、高橋学校教育課長、
嘉代小中一貫教育推進室長、金子生涯学習課長、前澤小中一貫教育推進室主
幹、遠藤教育総務課課長補佐、大谷教育総務課庶務係長
- 5 傍聴人 3 人
- 6 議 題
 - (1) 会議録の承認
平成 23 年第 13 回教育委員会定例会会議録について
平成 24 年第 1 回教育委員会臨時会会議録について
 - (2) 報 告
報第 1 号 平成 23 年度第 2 回三条市社会教育委員会議及び公民館運営審議会会議録
について
報第 2 号 平成 23 年度第 2 回三条市図書館協議会会議録について
 - (3) その他
ア 小中一貫教育推進状況について（概要報告）
イ 幼保小接続期モデルプログラム「安心わくわくプログラム」について
ウ 第一中学校区小中一体校建設工事請負業者について
エ 次回教育委員会定例会の日程について
- 7 審議の経過及び結果
 - (1) 会議録の承認
長沼委員長から平成 23 年第 13 回教育委員会定例会会議録、平成 24 年第 1 回教育委
員会臨時会会議録について諮り、承認と決定
 - (2) 報 告
 - ・ 報第 1 号 平成 23 年度第 2 回三条市社会教育委員会議及び公民館運営審議会会議
録について

・ 報第2号 平成23年度第2回三条市図書館協議会会議録について

金子生涯学習課長が一括説明

質疑に入る。

(長沼委員長)

図書館の方ですけれども、読み聞かせがやかましいと感じるか、楽しいと感じるかというのはどちらも本当におっしゃるとおりだと思いますが、図書館に伺いますと、割と子どもさんが走ったり、やかましかったりすることがありますので、こういういろんな意見があると注意しにくいと思うんですよね。だから、走ったり、兄弟同士で喧嘩を始めたりとか、そういうことについては注意しましょうと、共通の何かをした方が、図書館の方もいいんじゃないでしょうか。その他の読み聞かせとか、そういうことで楽しんでいる分の音については、そんなに気にはならないんじゃないかと思うんですけれども、これは注意すべきということにすれば、自然と読み聞かせの音も相応しい声になるんじゃないでしょうか。それから、最初から図書館は静かにするものと徹底なさった方が、働いておられる方が注意しやすいと思うことがよくあります。

(金子生涯学習課長)

今ほどのお話ですが、協議会において、子どもが身に着けるべき公共マナーを教えるという意味でも、ある程度静かにするというのは注意しなければならないというようにお話がありました。一方、児童コーナーにおいては、楽しい雰囲気を醸成していく必要もあるというように意見もありました。

(松永教育長)

私の方から2点ですが、1点目は、子どもの文化活動の興味関心を起こして活性化していく、わくわく文化未来塾のさらなる活動の発展をというようにご意見があったということで、これは私も大事なことだなと思っておりました。生涯学習の方でいろいろ企画して、子供たちの文化活動への誘いをさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

次に、社会体育と関係するんですが、体育協会と市長との懇談会等もあった中で、小学校や中学校にいるときの部活動のあり方、子どもたちのニーズに合った部活動の各学校の取組について、体育協会あるいは青少年、スポーツ少年団関係の方々とか、中体連など学校開放の関係の方々とか、それぞれのところと話し合いの場を設けたらいかかというように提案があったということで、文化活動もそうですが、スポーツ活動にもやはりそういうつながりというものについて、もう少し考えていく必要があるのかなということは今後、来年度に向けて一つ検討していくべきだと私は受け止めております。

併せてここにある意見の中で学校教育だけが子どもの教育ではありませんよと、家庭教育や社会教育というようなものも子どもの教育に関連するんだから、社会教育委員の方々と教育委員の方々との間でいろいろテーマをひとつの形に絞ってもいいでしょうけれども、お互いに意見交換しながら、子供たちの健やかな成長を目指した三条市の教育の在り方等について、家庭教育や社会教育の面と学校教育の面と、文化活動、スポーツなどについて、教育委員と社会教育委員との間の中で話し合いの場や懇談会の場を求めているらっし

やるようですので、それも受け止めていくべきかなと思っておりますが、委員さん方がどういうお考えか聞かせていただきたいと思います。

(金子生涯学習課長)

そうですね。何回かその要望と言いますか会議の中に出てございますが、1回は三条市の広い教育の中で社会教育がどういうふうに進んでいったらいいのかということ、社会教育委員さん自身、教育委員さんとの意見交換で確かめていきたいというような気持ちを強くお持ちなものですから、なんとか機会を見て実現していただければなと思っておりますのでよろしくお願いしたいと思います。

(坂爪委員)

教育長さんがおっしゃたように、小中一貫を兼ねて、そこらあたりをいい機会に社会教育と社会体育と教育委員会と学校の部活の指導者とうまく取りまとめて中学校までは三条市で子どもたちを育てるという考え方で何とかこう話し合いが持てて、いい方向に進んでいければなと思っています。

(松永教育長)

今、生涯学習課はあくまでも市長部局の中の市民部の方になるわけですし、社会体育関係は福祉保健部というような形で、今私が話してて思ったのはそういうふうなつながりがあるから、生涯学習課は生涯学習課で文化活動とかあるいは青少年健全育成というような形の中での話。だから、私もそのいくつかの窓があるので、教育委員会というのはやはりそれぞれのところとつながっていかなきゃならないという気持ちでさっきお話した。それから、坂爪委員さんがおっしゃたように小中一貫教育でもつながっていくというようなことであればなおさらのことですね。

(渡辺委員)

確かに社会教育委員の方がこうやってお考えを提案されるということはよくわかります。私どももやはり当然社会教育の重要性について認識しているところなわけですから。ただ社会教育、生涯学習だけではなくて、そのほかにもいろいろ関連してくるものが出てくると思います。そういうところも踏まえて、どういうところで合同の協議会なり委員会を形作っていくかということについて、もっと協議する必要があるのではないかなと。

(長沼委員長)

社会教育だけにとどまらずに、全部。

(渡辺委員)

いろんな関連が出て来ると思うんですね。ここだけというわけにはいかないと思うんですね。

(長沼委員長)

須佐委員さんいかがでしょうか。

(須佐委員)

教育委員会での社会教育委員さんの話も出てきて、1度そういった交流といたしますか、話し合いをもってみるのも一つの手かなと思います。ただ、1度もやったことがな

いので、それは教育委員会事務局の方で段取っていただいて、そういう場を設けていただきたいとお願いが出ているわけですから、それに応えていくべきだと思います。

(長沼委員長)

確か以前にも1回出ましたよね。こういう話し合いの場を希望してくださっているのですから、そのような動きになるように、皆さんもそうおっしゃっていますのでお願いします。

通学合宿が私は本当にいいことだと思うんですけど、どうしてでしょうね。

(金子生涯学習課長)

全市的に広げたわけですがけれども、今なかなか人数が集まらないということで、どういうふうにしたらいいか協議しているところですがけれども、一つの案として、縮小するのか、地区を限定してもう1回やってみるのかということを含めて、私どもの方で各公民館と話し合いながら、詰めている最中です。

(長沼委員長)

下田で始まったことですがけれども、下田の場合は希望が多いですか。

(金子生涯学習課長)

そうですね。大人の希望と言いますか。ボランティアをやっていただいているわけですが、それについての継続の要望は多いです。

(長沼委員長)

とてもいいことだと思いますので、またよろしくお願いします。

他はよろしいでしょうか。

承認いたします。

(3) その他

ア 小中一貫教育推進状況について（概要報告）

嘉代小中一貫教育推進室長が説明

質疑に入るが質疑なく、質疑終結

イ 幼保小接続期モデルプログラム「安心わくわくプログラム」について

久住子育て支援課長が説明

質疑に入る。

(長沼委員長)

大変具体的なよい取組ですね。これですと本当に具体的に書いてありますので、お家の方もお話ししながら進められると思いますし、先ほどの保育園・幼稚園を見せていただいても、先生方が本当に子どもを小学校、その後のことを考えてとてもよくやってくださっているのので、これはまたそれにとっても役に立つものだと思います。

(高橋学校教育課長)

私は小学校の勤務をずっとしてまして、小学校の校長もさせていただきました。こういうことがあります。入学してきた子どもたちがお昼を食べると5時間目になると寝てし

もう子がいました。そのとき私は、この子供たちは大変疲れて小学校の生活に疲れている、それで休まないといけないのだ、というような気持ちで対応したことがあるのですが、そうではなくて、午睡の経験が上手く断ち切れなままきているのかなとこの表を見て思いました。それから小学校1年生の子どもが大変難儀をして疲れているんだから、保育園のときのように早く帰さなきゃいけないと思うんですが、意外と保育園のときの方が在園時間が長くて、そういうことに慣れているんだけれども、小学校の入学したての時は早く帰さなきゃいけないと思うことが頭の中に浮かびました。

そのことはこの8ページのこのたった一つの矢印なんです、小学校1年生の担任は2月頃に午睡が終わっているんだと思っているかということとそんなことはよく分かっていないのではないのでしょうか。午睡がいつ終わったかなんていうことも正直にはよく分かってない。また、午睡の習慣が終わってない子がいるということさえも気づかない、ということもこの表を見るとよくわかるんです。そして、このパンフレットが非常に興味あることなんです、委員さん方はよくご存知だと思うんですが、中1ギャップという言葉と対比的であるのが、小1プロブレムという小学校1年生になったときに子どもたちがなかなか学級になじまない状態があって、結構先生方が手を焼いている状態があります。そのときの発想はやっぱり小学校1年生という環境が変わった時に、子供たちにどう対応したらよいかということに気づくことが大事だと思っています。

そういう意味で久住課長が提案したことは小学校の教員にとってもこれを少しずつ自分たちのものにしていくと、とてもいいものではないかなというふうに思っております。なお、小学校の先生方もとてもこれに興味を示されながら取り組まれたというような話も聞いているのでこの活用は大変いいなと思っております。

(長沼委員長)

一生役に立つ。この花丸がもらえたら本当にずっと中学校も高校もこの20にチャレンジできたら苦労はないように思います。

(坂爪委員)

あのすごくこれいいんですけども、親にいかにか徹底するかの方が私は大事だなと思います。例えば決まった時刻に寝るとありますけれども、親が長起きすれば子どもも長起きする。ここらのあたりを親にもやはりどういうふうに子どもにしつけるかがすごく大事ななというような感じがするのですが、その他にもたくさんあるんですけども、要するに決まりのない決まりをいかにか徹底するかというのは、親を指導するのが大変だなというような気がします。

(渡辺委員)

私も一つは今の坂爪委員さんの保護者の指導の徹底をどういうふうにしていくかということが大きいかなと思います。学校の方についてはやはり、先ほど学校教育課長さんも言われましたように、大事なものですので、ぜひこれを実践して実をあげていただきたいと思っております。

(長沼委員長)

須佐委員さんいかがでしょうか。

(須佐委員)

非常に具体的でわかりやすくいいと思います。これで本当に幼保と小学校の連携が進めば非常にいい形になっていくと思います。お疲れ様でした。

(長沼委員長)

私は中でも特に、聞く話すの「困ったときは家の人に話す」ということは、親は困れば話すと思っているんですけども、困ってても親に話すことって本当に少ないんですよ。でもこれを文章にさせていただいて、子どもと親で確認すると、とてもこれは知ってるはずとかそういうことって随分意識の違いがあるので、これはありがたいことだなと思います。本当にありがとうございます。

教育長さんいかがですか。

(松永教育長)

これを作るにあたって子育て支援課と学校教育課それから学校の教職員、保育所、幼稚園の先生方。本当に力を合わせてお互いに持っているものを出しながら作り上げてくれた。私はそれが非常にうれしいし、大変よかったなと思っていたんですが、小中一貫教育もそうですが、幼保小連携もやはり先生方の意識がそういうところにあるかないかによって物事というのは前に進むか進まないかだと思いますので、これから具体的な実践に移っていくので、ここへ来るまでに本当に先生方にお力をいただいたということに感謝申し上げます。

(長沼委員長)

本当にありがとうございました。

ウ 第一中学校区小中一体校建設工事請負業者について

大平教育総務課長が説明

質疑に入るが質疑なく、質疑終結

エ 次回教育委員会定例会の日程について

大平教育総務課長から提案があり、委員長が諮り次のとおり決定する。

日 時 平成 24 年 2 月 22 日 (水) 午後 1 時 30 分

会 場 三条市役所栄庁舎 201 会議室

8 閉会宣言 平成 24 年 1 月 24 日 午後 3 時 15 分

三条市教育委員会会議規則第 38 条及び第 39 条の規定により、会議の顛末を記載してここに署名する。

三条市教育委員会

委員長 長沼 礼子